

別紙 3 4

【薬効分類】 6 1 9 その他の抗生物質製剤

【医薬品名】 ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行	改訂案
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩、ピモジド、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、スボレキサント、ダリドレキサント塩酸塩、ボルノレキサント水和物、ロミタピドメシル酸塩、タダラフィル〔アドシルカ〕、チカグレロル、イブルチニブ、イブラジン塩酸塩、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）、再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫の用量漸増期）、ルラシドン塩酸塩、アナモレリン塩酸塩、フィネレノン、イサブコナゾニウム硫酸塩、ボクロスポリン、マバカムテンを投与中の患者</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩、ピモジド、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、スボレキサント、ダリドレキサント塩酸塩、ボルノレキサント水和物、ロミタピドメシル酸塩、タダラフィル〔アドシルカ〕、チカグレロル、イブルチニブ、イブラジン塩酸塩、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）、再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫の用量漸増期）、ルラシドン塩酸塩、アナモレリン塩酸塩、フィネレノン、イサブコナゾニウム硫酸塩、ボクロスポリン、マバカムテン、<u>アゼルニジピン</u>、<u>オルメサルタン</u> <u>メドキシミル・アゼルニジピン</u>を投与中の患者</p>
<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <p>〈クラリスロマイシン〉</p>	<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <p>〈クラリスロマイシン〉</p>

(新設)	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
	アゼルニジピン	アゼルニジピンの血	クラリスロマイ
	オルメサルタン メドキン	中濃度が上昇し作用	シンのCYP3Aに
	ミル・アゼルニジピン	が増強するおそれがある。	対する阻害作用により、左記薬剤の代謝が阻害され、それらの血中濃度が上昇する可能性がある。